



ディフェンス上達のこつ (3)

パッシブ (ウェイティングとも言いますが) という意味は、自分から積極的に自分のあるいはパートナーの絵札を取りに行くのではなく、ディクレアラーのどうせ取れるものを取らせて、じっとしてディクレアラーが触ってくるまで待つという意味です。絵札がオフェンス、ディフェンス両サイドに分かれているときは、一般に戦端を開いた方が損をするカードコンビネーションになっているのが普通ですので、それまで我慢しているのが得策というわけです。

パッシブディフェンスをするときは次のようなときです。

- 1) ダミーに強いサイドスートがあるという証拠がない
- 2) ディクレアラーは非常に強く、ダミーは非常に弱い
- 3) 中心になるスートはミスフィットであるかブレイクが悪い
- 4) NTへのリードで良いスートがない
- 5) 6NTやグランドスラムへのディフェンスである

例で考えて見ましょう:

ビッドは 1S-2S-4S となりました。

♠ 10943
♥ AQ105
♦ Q107
♣ 86

と持っていてリードです。ビッドから考えると、ディクレアラーは強く、ダミーは弱そうです。したがってダミーのスートでディクレアラーのルーザーを捨てられてしまうことはなさそうです。またトランプを4枚持っているのでパンピングを狙うディフェンスも考えますが、こちらにははっきりとした強いスートがあるようにも思えません。あるとしたらハートですが4枚しかありません。パートナーにHKが必ずなければなりません。これよりはHKはディクレアラーにありそうに思えます。したがってウェイティングリードの方を選択します。一番パッシブなのはやはりトランプです。トランプはビッドからいって、パートナーはシングルトン以下です。したがってそれがJのときに備えてS3からリードします。全部のハンドは右のようでした。他のどれをリードしてもメークされてしまいます。(この例は"Improve Your Opening Lead" by H. Kelsey & J. Matheson から取ったものです)

♠ 10943	♠ AQ5	♠ 2
♥ AQ102	♥ 74	♥ J953
♦ Q107	♦ 9842	♦ J65
♣ 86	♣ Q753	♣ K10942
	N	
	W	E
	S	
	♠ KJ876	
	♥ K86	
	♦ AK3	
	♣ AJ	

もう1つ例を見てみましょう。1NT-2NTのあとSの3NTになります。Wからのリードですがハートもダイヤモンドも魅力的ではありません(実際9トリック目を与えることになりす)このようなときはC8をリードします。ディクレアラーはこのリードで考えます。

♠ A6	♠ QJ4	♠ K873
♥ Q943	♥ 875	♥ 1062
♦ J876	♦ K543	♦ 92
♣ 854	♣ K103	♣ AJ97
	N	
	W	E
	S	
	♠ 10952	
	♥ AKJ	
	♦ AQ10	
	♣ Q62	

CA、CJ、C9はどこになるでしょうか? たぶんEです。ということはダミーからローを引くともう一度Wからクラブを出されると3トリック取られてしまいそうです。したがってCKをプレイします(このような持ち方の時の定石です)EはCAで取らざるをえません。ここでクラブを触ると2トリック取られますから、クラブはあきらめて右側が弱いスートすなわちハート10をバックします。ディクレアラーはすぐにはフィネスせず、いったんHAで上がってスペードを触ります。WはSAで上がってクラブをリードすべきかパートナーからまたハートを出してもらうのを待つか選択になりますが、クラブはパートナーの持ち方は明確ではないのでハートを取りに行く方を選択します。ということはSAは上がらないでパートナーのSKを先に取らせます。EはH6をプレイしてくるので、こんどはハートJでフィネスしてみます。WはHQであがって、まだ慌てずにハートを出すのではなく、C5を出します。こうするとディクレアラーはどうやっても8トリックしか取れません。これは4)のNTへの良いリードがないに相当します。なおビッドが1NT-3NTとなったときと1NT-2NT-3NTではリードに対する考え方が異なってくることに注意してください。同じハンドを持っていても前者ではアタッキングリード、後者ではウェイティングリードします。この例では後者の方に当てはまります。いずれにしろウェイティングリードの機会は案外多いものです。ふだんのディフェンスに応用してみてください。